CSJ Chemistry thFesta



無料

日本化学会秋季事業 第11回 CSJ化学フェスタ2021

日本化学会秋季事業 第11回CSJ化学フェスタ2021を、オンラインで開催します。

今回も驚きの企画、参加してよかったと思っていただける企画が目白押しです。皆様お誘いあわせのうえ、奮って ご参加下さい。

ェ ス 夕 企

有料

テーマ企画

化学は様々な分野で科学技術の発展を牽引し、未来社会に向けたイノベーションの 主役を担っています。テーマ企画では、多様な分野で新たな価値を生み出している化学 技術や化学素材など化学に関わる研究開発の最前線から、化学の将来を担う学生に 向けたチュートリアルまで、多岐にわたる多くの魅力的なテーマを企画しています。

- ●時代の変革者~デジタルトランスフォーメーション~
- ②令和の錬金術師から学ぶ都市鉱山、精製・精錬、リサイクルの現状
- ③高機能素材にもなる!凡庸ではない汎用高分子
- ⁴社会を支える粒子濃厚分散系と粒子集積系
- 6コロナに負けるな!衛生分野からの挑戦
- ⑥人生は自分で切り開くぞ!博士取得後のキャリアプラン
- **②**イノベーションを形に! ∼化学系ベンチャー企業の挑戦〜
- ③人工光合成の最前線~霞を食ってエネルギーを産み出す~
- りクルマの未来を"化(Car)学"する~化学のチカラでCO₂排出削減・燃費向上~
- ⑩電気を流す?流さない?エレクトロニクス材料の最前線
- ●ここまできた!次世代太陽電池の現状
- ❷いま高分子がアツい!~熱に耐え、熱を伝える「熱マネジメント材料」の最前線~
- ◎「映える」界面は機能もスゴい! ~次世代材料を創る表面・界面技術~
- ⑥次は宇宙(そら)だ!∼宇宙も化学も可能性は無限大∼
- 6陸の豊かさを守る∼再生可能資源の活用と陸上生態系との共生∼
- ⑥コロナに負けるな!ワクチン・薬分野からの挑戦
- ΰ博士課程学生オーラルセッション
- №私たちに任せてください!つくりますよ、有機合成化学。
- ®電力の脱炭素化はカーボンニュートラル実現の要
- ◎その電池健康ですか?~蓄電池の安全性向上および非破壊評価技術の深化~
- ② モーニングティーはパイと一緒に
- Let's Enjoy Chemistry in Japan and World!
- ◎環境にやさしいサステナブルな高分子材料の研究と実用化の最前線
- ❷生体高分子を"部材"としたNano建築~のりしろのデザインがいい感じ~
- 極マテリアルインフォマティックス(MI)に使うデータをどうやって作り出す? ~ロボット、シミュレーション、有機でも無機でもやってみよう!~
- ◎コロナに負けるな!ウイルス・疾患と戦う化学感覚
- ②化学のプレゼンに役立つKNOW-HOW
- ②大型研究施設を用いた化学研究・材料開発
- ❷ただでは転びません~失敗に潜むブレークスルーの種~
- ●3Dプリンターが拓くものづくりの未来

産学官R&D紹介企画

産学官の諸機関の研究開発アクティビティを紹介します。 参加機関の様々なアピールを、見て、聴いて、お楽しみ下さい。

●R&D展示ブース ●R&Dセッション(講演) ●ランチタイムセッション(講演)

学生ポスター発表

3日間で約1,000件のポスター発表が行われます。いずれのポスターでも産学官の 研究者と学生の熱いディスカッションが繰り広げられ、今回も優秀な発表に対して ポスター発表賞が授与されます。

●あなたの睡眠は大丈夫?~生活リズムの基本・健やかな睡眠を化学する~

2021ノーベル賞解説講演

今年のノーベル賞の内容を分かり易く解説します。

コラボレーション企画

各機関からの情報発信により産学官の交流深耕、連携促進の一助とするこ とを目的として、コラボレーション企画を実施します。どの企画も参加者に とって興味深く有益な情報が得られる場ですので、積極的にご参加下さい。

●文科省科研費学術変革領域研究(A)

「高密度共役の科学:電子共役概念の変革と電子物性をつなぐ」特別企画: 高密度共役を可能にする物質創製:新しい電子共役を目指して

②産総研特別企画:

プロセス・インフォマティクス~進化する材料開発の最前線~

③文科省科研費新学術領域研究「水圏機能材料:環境に調和・応答する マテリアル構築学の創成 |特別企画(1):

材料に調和する水を使う・観る

●三井化学特別企画:

触媒科学フォーラム〜触媒科学最前線〜

●文科省科研費新学術領域研究「水圏機能材料:環境に調和・応答する マテリアル構築学の創成」特別企画(2):

水との調和により創造される材料機能

⑥文科省科研費学術変革領域研究(B) 「重水素学:重水素が示す特性の理解と活用」特別企画:

「重水素学」の今×学術変革(B)「革新ラマン」「高分子精密分解」「シナジー 創薬学|座談会

参加登録のご案内

CSJ化学フェスタで実施する企画へ参加される方には有料・無料に 関わらず参加登録をお願いしています。ウェブサイトよりお申込み下さい。

https://www.csj.jp/festa/2021/

早期申込期間: 8月2日(月)~9月15日(水) 正午

通常申込期間: 9月16日(木)~会期当日

プログラム公開: 8月 2日(月) 予稿集(web)発行日: 9月24日(金)

フェス々企画参加費

ノエハノ正画を加貝										
参加区分	正会員"	非会員	学生会員	非会員学生	ポスター審査員*2	プログラム集 (冊子)				
早期	15,000円	27,000円	4,000円	5,000円	11,000円	2,000円				
通常*3	18,000円	30,000円	5,000円	6,000円	11,000円 (税込)	_				

*1…個人正会員・教育会員・シニア会員・法人正会員企業に所属する方が対象です。
*2…ポスター審査員の方について、審査日に限定して当日開催される企画に無料でご参加いただけます。
審査日以外の日程に参加される場合、参加登録をお願い致します。
*3…通常申込期間のお支払い方法はクレジットカードのみとなります。
*4・参加費の課程区分は全て課税です。

2021.10/19_{(Tue.)-}21_(Thu.) 会場 I オンライン開催

10月19日(火) ※有料・無料に関わらず参加登録が必要です。 10 12 14 11 13 16 [13:00-17:00] 文科省科研費学術変革領域研究(A)「高密度共役の科学・電子共役概念の変革と電子物性をつなぐ]特別企画:高密度共役を可能にする物質創製:新しい電子共役を目指して本学術変革領域研究では、有機化学に基づく分子性物質の設計分子間空隙の期制態 基稿相における熱めらき抑制により、新しい分子間電子共役(=高密度共復)を達成することを目的としています。様々な分子間相互作用を的確に用いることで高密度共役を実現する、最近の物質創製に関する研究を紹介いたします。 10:30-10:40 開会挨拶 13:00-13:10 開会挨拶 T10:30 [10:40-12:00] 小林 喜光(日本化学会会長 関修平(京都大学) 2021ノーベル賞 13:10-13:30 反芳香族分子の近接積 層による高密度共役 20:00 10:50 京原年 14(1) 日本 (株)三菱ケミカルホールディングス) 加藤 隆史(CSJ 化学フェスタ実行委員長/東京大学) 解説講演 13:00-13:05 開会挨拶 濱川 聡(産業技術総合研究所) 13:05-13:55 [基調講演] プロセス・インフォマティクスが変える 材料開発 製造のあり方 漁津 公人(奈良先端科学技術大学院大学) 13:55-14:20 マテリアル・イノベーション創出に向けた政府戦略 堀部 雅弘(経済産業省) 本年度のノーベル賞の 内容を分かり易く解説 13:30-13:50 高密度共役に向けた含 Ħ. ホウ素π電子系の創出 ポンネル電」示り間出 畠山 琢次(関西学院大学) 13:50-14:10 高密度共役を指向した 荷電π電子系の集積化 荷電π電子系の集積化 前田 大光(立命能大学) 14:10-14:30 高密度共役のための電子 受容性非ペンゼノイドπ 電子系の創製 深澤 愛子(京都大学) 14:40-15:00 フェナレニルラジカルの 高密度共役化 久保 孝史(大阪大学) 15:00-15:20 静電相互作用を用いた 「高密度共役制御 芥川 曾行(東北大学) 15:20-15:40 分子性半導体の結晶構 [13:00-17:00] 產総研特別企画 プロセス・インフォマティクス **進化する材料開発の最前線**〜
最近、データを活用し材料試作から材料製造までの加速を目指す
「プロセス・インフォマティクス」が注目されています。本セッションでは、 プロセス・インフォマティクスの最新動向と、現在能器で進めている プロセスイノベーションブラットフォーム整備事業について紹介します。 -郎(産業技術総合研究所) 16:55-17:00 閉会挨拶 佐々木 毅(産業技術総合研究所) [09:30-11:55] 時代の変革者 [13:30-17:30] 令和の錬金術師から学ぶ 09:30-09:35 開会挨拶 山口 和也(東京大学) 都市鉱山、精製・精錬、リサイクルの現状 部田地山、有場で、相談、・日本、ワクインルマンのの 錬金術は化学の礎となった学問ですが、現代においてもその血脈を 受け継いで、スクラップから貴金属を取り出す、あるいはレアメタルを コモンメタルにしようと日夜研究されている錬金術師がいます。 本セッションでは、精錬技術の最先端、またリサイクルや都市鉱山の アメルトをグライン・サイヤー 15:20-15:40 分子性半導体の結晶構造制御 ~高密度共役を目指して~ 瀧宮和男(理化学研究所、 四日 和田(本ホハナ/ 09:35-10:15 化学産業におけるデジタル トランスフォーメーションと データ科学 データ科学 磁村 哲((株) 三菱ケミカル ホールディングス 10:20-11:00 エネルギー分野におけるデ ジタルトランスフォーメー ション最新事例 ハPP(バーチャル・パワープ 現状を紹介します。 東北大学) 東北大学) 15:40-16:00 高密度共役のための直 交型ホスタックの利用 酒巻 大輔(大阪府立大学) 16:10-16:30 高密度共役を目指す分子 [9:30-11:50] 高機能素材にもなる! [13:00-17:15] 社会を支える粒子濃厚分散系と粒子集 [9:30-11:50] 画機能系列にもなる! 凡庸ではない汎用高分子 高分子材料は石油化学の発展とともに進化して来ましたが、 昨今、海洋ブラスチックなどが問題視されてきています。 一方、汎用高分子も技術の進歩により医療材料をはじめ とした高機能性素材としての開発も進んでいます。 本セッションでは、これら汎用高分子の開発動向から高 機能新素材への最前線を講演していただきます。 配列制御 ラント) 新貝 英己(東芝ネクストク 食品、洗剤など家庭で使われるものから、ベイント、さらには最先端の2 次電池、導電材料に至るまで、微粒子の濃厚分散系とそれを支える分散技術は世界のあらゆる場面で利用されています。本セッションでは、そのなかで特に微粒子の濃厚分散系とそれからの集積系得要について初心者から中級者レベルの皆様と議論する機会を設けました。 松田 建児(京都大学) D 16:30-16:50 高密度共役系構築に向 けた分子集合体の空間 ラフトベルケ(株)) 11:10-11:50 Pythonで気軽に化学・化学 充填設計 工学 金子 弘昌(明治大学) 庄子 良晃(東京工業大学) 16:50-17:00 閉会挨拶 11:50-11:55 閉会挨拶 忍久保洋(名古屋大学) 早川 晃鏡(東京工業大学) 13:30-13:35 開会挨拶 南豪(東京大学) 13:35-14:15 都市鉱山利活用の現状と課題 13:00-13:05 開会挨拶 13:00-13:05 開会挨拶 米澤 徹(北海道大学) 13:05-13:45 電子デノイス用途のための金属微粒子濃厚分散系ペースト 川崎 英也(関西大学) 13:50-14:30 微粒子の界面集積系における材料化〜形状制御可能な液滴 の創出〜 藤井 秀司(大阪工業大学) 14:35-15:15 レーザー散乱法による微粒子の粒径計測と相互作用評価 高橋 かより(産業技術総合研究所) 15:25-16:25 [基期講演] 固次分散系を作る基本的な考え方 小妹 新継(小妹分散技術研究所) 09:30-09:35 開会挨拶 佐藤 浩太郎(東京工業大学) 13:33-14:13 部印油山中沿市の現外と課題所 所 千晴(早稲田大学) 14:20-15:00 山師のレアメタル・レアアース資源評価 渡辺 寧(秋田大学) 15:10-15:50 変遷する貴金属含有スクラップからの貴金属 回収方法について 長間 章夫(田中貴金属工業(株)) 佐藤 浩太郎(東京工業大学)
09:35-10:05 精密重合から持続性高分子科学へ
澤本 光男(中部大学)
10:05-10:35 汎用だけど進化し続けるポリエチレン
小西 洋平(三菱ケミカル(株))
10:45-11:15 5せん構造を付与したアクリル樹脂(st-PMMA)による分子包接
河内 岳大(龍谷大学)
11:15-11:45 高分子の性能をより良くする添加剤
漫型 またい(また)のEVA) 15:55-16:35 非鉄金属産業における金精錬と新精製プロセス 開発について 黒川 晴正(東京大学) 福田 拓也((株)ADEKA) 18.23-18.23 (金崎崎県) 国成力 版末で 日本寺 かった ラスプー 小林 敏勝 (小林 分散技術研究所) 16.30-17:10 2次電池を支える無機粒子濃厚分散系をつくる分散技術神野 丸男(プライミクス(株)) 11:45-11:50 閉会挨拶 岡 夏央(岐阜大学) 16:40-17:25 【基調講演】レアメタルの過去・現在・未来 ~「走るレアメタル」の普及が世界を変える~ 岡部 徹(東京大学) 閉会挨拶 田中 紳一郎(住友化学(株)) 17:10-17:15 閉会挨拶 09:30-09:35 開会挨拶 17:25-17:30 閉会挨拶 武田 真一(武田コロイドテクノ・コンサルティング(株)) 09:35-10:00 新型コロナウイルス: これまでに分かったこと 河岡 義裕(国立医療研究セ 13:00-13:05 開会挨拶 竹岡 裕子(上智大学)
13:05-13:45 世界の舞台で生きていこう 野崎 京子(東京大学)
13:45-14:10 アカデミックキャリアのスタートとして、研究分野を変えてみる 松本 拓也(神戸大学)
14:10-14:35 社会人での博士号取得とその後のキャリア 奥村 知世(旭化成(株))
14:50-15:30 巾の肩書きが世界で意味するもの 藤島 義之(味の素(株))
15:30-16:10 企業は博士に何を求めているのか~専門性?
重本 建生(JSR(株))
16:10-16:40 フリータイムティスカッション 13:00-13:05 開会挨拶 植村 卓史(東京大学) 13:05-13:40 金属錯体を中核とした光蝕煤: CO₂と水、太陽光だけで炭素・エ ネルギー資源を作る 石谷治(東京工業大学) [09:30-12:00] コロナに負けるな! ンター) 10:00-10:25 新型コロナウイルスに対す る代替消毒方法の有効性 評価について 加藤 愼一郎(独立行政法人製 (19:30-12:00] コロノに負けるほど 衛生分野からの挑戦 COVID-19によって、人々の生活様式は大きく変わりました。手洗いや手指消毒は以前にもまして重要視されています。また、これまで街中で着用する文化の無かった国でもマスクを着用することが当たり前になりました。本セッションでは、コロナ禍における衛生分野からの挑戦について紹介します。 13:40-14:15 太陽光下での光触媒を用いた 水分解による水素とCO₂からの 人工光合成の可能性と今後の G 温評価技術基盤機構) 10:25-10:50病原菌・ウイルスが皮膚を介 して感染するリスクに警鐘 展望 里本 建土(JOIN(株)) 16:10-16:40 フリータイムディスカッション 16:45-16:50 閉会挨拶 矢島 知子(お茶の水女子大学) 展望 瀬戸山 亨(三菱ケミカル(株)) 人工光合成:二酸化炭素と水を 用いた太陽光エネルギー貯蔵 森川健志((株)豊田中央研究所) るの表示を多り入れた言葉 物地議次(東北大学大学院) 11:05-11:30 スキンケアと感染予防 倉繁 祐太(倉業皮3科医院) 11:30-11:55 手指が本来ぞなえている、感 染症に対するパリア機能を [13:00-16:50] 人生は自分で切り開くぞ! 14:50-15:25 生体触媒と光触媒との連携で 二酸化炭素を有用物質に再生 博士取得後のキャリアプラン マー・ハロダン イドノア ノブノ 本セッションでは、博士号を取得すると何が違うのか、またどの ような人生が描けるのかを、産学官の第一線で活躍されている ペデラン若手研究者の方々に請演いただきます。講演を通じて、 学生の皆さんが「自分が活躍する将来像」を具体的にイメージ できるようにアドバイスを贈ります。 発見 眞鍋 憲二(花王(株)) 11:55-12:00 閉会挨拶 岡本 晃充(東京大学) 15:35-16:10 光触媒印刷膜を利用したソー ラー水素製造 徳留 弘優(TOTO(株)) 09:30-09:35 開会挨拶 半導体光触媒や光電極を用いた人工光合成の高性能化技術の開発 田中 敬二(九州大学) 16:10-16:45 09:35-10:10 多孔性配位高分子(PCP/ MOF)の商業化最新動向 [09:30-12:00]イノベーションを形に! ~化学系ベンチャー企業の挑戦~ [13:00-17:25] 人工光合成の最前線 ・電を食ってエネルギーを産み出す〜 近年、太陽光エネルギーを化学エネルギーに変換できる人工光合成に関する研究開発が加速度的に進展しています。本セッションでは、3番件と、電気化学、固体触媒およびそれらを融合させた研究、応用開発の最先端を調楽していただきます。 の開発 佐山和弘(産業技術総合研究所) 16:45-17:20 種々の金属イオンを配位させ た窒化炭素光触媒による水と 酸素を用いた過酸化水素製造 2021.10 一日子ボ・ノア・一止来りが乳 日本においても、将来世界を変える可能性のある革 新的な技術がスタートアップ、ベンチャー企業から生 み出されています。本セッションでは要素技術から機 能性マテリアルまで、イノベーションを形にする魅力 的・刺激的なお話を化学系ペンチャー企業の皆様よ り講演していただきます。 樋口 雅一(京都大学) 10:10-10:45 空気の結晶で未来をつくる、 超軽量透明断熱材 山地 正洋(ティエムファクトリ 横野 照尚(九州工業大学) 17:20-17:25 閉会挨拶 中野 達也((株)ダ 10:45-11:20 生産の常識を打ち破る、オンサイト型アンモニア合成システム 昭和雷工グループランチタイムセッション [12:00-13:00] [15:00-15:30] 昭和電エグループランチダイムセッション 一最先端の研究開発をご紹介しますー 12:00-12:05 昭和電エグループ概要紹介 栗谷 真澄(昭和電工(株)) 12:05-12:20 高速液体クロマトグラフィー 分析カラムShodes®の開発 丸田 秀平(昭和電工(株)) 15:00-15:30 クラリアントケミカルズ(株) 産学官R&D ____ 飯隈 洋一(つばめBHB(株)) 産学官R&D 顔料を科学する 11:20-11:55 世界の熱問題を解決する、高 熱伝導ファイバー状窒化アル ミニウム単結晶 原田 大輔(クラリアントケミカルズ(株)) 大川 真弘(クラリアントケミカルズ(株)) 紹介企画 紹介企画 --|R&D ランチタイム 一用分離· 西谷 健治((株)U-MAP) 12:20-12:35 最先端の半導体業界を支える半導 田村 興造((株)クラレ) 12:20-12:33 最大:編の十等体条件を支える干等体研磨液の開発 市毛康裕(昭和電エマテリアルズ(株)) 12:35-12:50 昭和電エグループの研究開発を 支える計算科学・AI 竹本 真平(昭和電工(株)) 12:50-13:00 閉会挨拶 電池 (東京 (四名) 原子(株)) [12:00-13:00] 日産化学(株)ランチタイムセッション 12:00-12:30 日産化学の全体像 稲葉 正光(日産化学(株)) 12:30-13:00 日産化学が描く未来創造の最前線 東 将之(日産化学(株)) 猪鼻 岳彦(日産化学(株)) 産学官R&D 紹介企画 ランチタイム セッション 栗谷 真澄(昭和電工(株)) [10:00-12:00] [13:00-15:00] [15:30-17:30] 学生ポスター発表:P1 学生ポスター発表:P2 学生ポスター発表:P3 物理化学、無機化学·触媒化学·分析化学、 有機化学、錯体·有機金属化学 無機化学・触媒化学・分析化学、有機化学、 天然物化学・生体機能関連化学・バイオテクノロジー 高分子化学、材料化学 無機化学・触媒化学・分析化学、有機化学、 天然物化学生体機能関連化学・バイオテクノロジー、 高分子化学、材料化学 [10:00-17:30] 産学官R&D紹介企画 -展示ブース-①旭化成(株)、②味の素(株)、③花王(株)、④(株)クレハ、⑤住友ベークライト(株)、⑥太陽ホールディングス(株)、 ⑦DIC(株)、⑥帝人(株)、⑨デンカ(株)、⑩日揮ユニバーサル(株)、⑪日産化学(株)、⑫(株)日本触媒、⑬日本ゼオン(株)、 ⑭パナソニック(株)、⑮三菱ガス化学(株)、⑯三菱ケミカル(株)、⑰ライオン(株)

会場 _	0月20日(水	•											라•無本川, 译	わらず参加登録が必	、要です
,		09	10	11		12	13	14	15	16	<u> </u>	ж нт	17		18-19
_	09:30-09:35 開会挨拶 加藤 隆史(東京大学)	[09:30-11:	55] 文科省科研費新学 ・応答するマテリアル権		材料:		[13:00-17:00]	三井化学特別企	 画:		13:00	-13:10	開会挨拶	! 柴田 真吾(三井化学(株) 媒科学奨励賞 受賞講演】))
A	09:35-09:55 水圏機能材料としての生合性高分子〜中性子で見もの〜 瀬戸 秀紀(高エネルギー 88研究機構) 09:55-10:15 水圏で旧ばたらくJ低含水	本新学術領 加速 相互作用し 定義し、「水	調和する水を 類域研究では、「水」の存 ながら機能を発現する 」と「材料」の相互作用を 、新しいマテリアル構象	使う・観る 存在下において環境と る材料を「水圏機能材 ・分子レベル・ナノ集合!	:調和・ 料]と レベル		三井化学は「地球 創出を通して広く ものづくりの基準 触媒化学フォーラ	オーラム〜触 [†] 環境と調和の中 く社会に貢献する 盤技術である触 がな開催いたします よる招待講演・202	で、材料・物質の 」ことを目指して 某科学の発展に す。触媒科学の第	変革と ており、 向けて i一線で			Tackling Big (Matteo Carg 【三井化学触 Cooperative Metal Anion	Challenges Using Tiny Crystanello (Stanford University 以科学奨励賞 受賞講演】 Catalyses of Transition and Typical Metal Catic	y)
	子材料の解析〜少ない2 大きな効果〜 藤井 義久(三重大学)	kの 企画(1)では	は水と分子の相互作用を	様々な角度から紹介し	ます。		賞受賞者より最先	た端の触媒技術を終	習介いただきます	f .	14:40	-15:10	and Mitsui	È画】Catalysis Science Chemicals	
В	10:15-10:35 放射光赤外分光で領る水 能材料と水の状態 池本 夕住。高輝度光科学 センター) 10:55-11:15 分子シミュレーションで 水園機能材料 値口 枯次(東京大学)	研究 10:05-10 見る	:35開会挨拶 石渡 :05軽量化への取組: 石川 健(三菱ケミ :35 脱炭素 社会に向 野村 和宏(NBリ: :20 CO ₂ の削減に貢産 山口 健((株)ブ!	ミカル(株)) けての自動車に対す サーチ) 状するタイヤ技術の	するエポ								【招待講演】F Photocatalys 千葉 俊介(University, 【三井化学所	三井化学(株)) Polysulfide Anion sis for Chemical Synthes Nanyang Technologica Singapore) 蚊探科学賞 受賞講演】	iis I
	11:15-11:35 シミュレーションで、AB機能 おける分子の動きを"視る" 遊辺 豪(北里大学) 11:35-11:55 水圏機能材料分子近傍 に関わる分光データの解		:50電気自動車向け 上田 真央(シェ/ :55閉会挨拶 山口 11:55] クルマの未	潤滑油の課題と展覧 レルブリカンツジャル 和也(東京大学)	パン(株)		09:35 開会挨拶	加藤 隆(JNC(株) よび熱膨張性を制御)	O LUINEREI	16:55	-17:00	Enantioselect Additional To Frank Glorius (L	of Chemo- and ive Arene Hydrogenation ar ols for Improving Synthesis Iniversity of Muenster, German 橋本 修(三井化学(株)	s _(V)
C	向けた理論研究 鳥居 肇 (静岡大学) 09:30-09:35 開会挨拶 千賀武志(富士フィルム(株 09:35-10:05 どんどん伸びる!CNTの近	〜化学の 昨今のCC ルギー効 ます。その)チカラでCO₂排出 Ĵ₂排出規制やEV化の 率で走行する自動車 のためには、ボディ	削減・燃費向上~ トレンドから、より高 車の開発が求められ 軽量化やタイヤ転	いてい 1	0:05-	安藤 慎治(! 10:35 橋かけ構造 木村 肇(大! 11:15 メソゲンエ7	FC熱膨張性を制御 東京工業大学) の導入による樹脂 阪産業技術研究所 ポキシ樹脂の熱伝 昭和電エマテリア)	の耐熱性向上) 導と高熱伝導化:		13:05	-13:55	宮坂 力(桐	ペロブスカイトを用いる高 の材料設計と今後の展開 蔭横浜大学)	扬
	現在・未来 島賢治(産業技術総合研究所 10:05-10:35 分子とイオンと隙間で作 金属ブラスチック 渡邊 峻一郎(東京大学)	が 大々より	など、化学の寄与が ョンでは、関連分野、研究開発の事例に ・ 11:50] 電気を	の第一線で活躍さ ついて紹介します。	1		11:45 金属並みの 寺嶋 和夫(1 11:50 閉会挨拶	熱伝導性を備えた	ゴム複合材料リヂストン)	,			halide pero Yabing Qi() 「カーボンズ い有機系太	nd interfaces in metal vskite solar cell device 中縄科学技術大学院大学 に陽電池」を目指した新 ・陽電池の創製	学)
D	10:45-11:15 機能性炭素素材をベンチ ビジネスに!酸化グラフェ 産業化 仁科勇太(岡山大学) 11:15-11:45 電荷を止める?貯める?	マープエレクトに など、様々 でモ 官学の多	トロニクス材 コニクスデバイスには な材料が必要です。 方面で開発研究が過	料の最前線 は導電体・半導体・絶線 。近年、新たな材料が 進んでおり、基礎研	縁体が産究を	$/\!/$	次世代太陽電力ーボンニュート さらなる普及が 中で最も発電量が	電池の現状 ラル実現に向けて 望まれています。 が多い太陽光発電	、再生可能エネル 再生可能エネル への期待は高く、	·ギーの ·普及の			どこへ行く 但馬 敬介(有機薄膜太	池はどこまでわかって のか? 理化学研究所) :陽雷池〜活性層材料の	
	ルファスフッ素樹脂 坂根 好彦(AGC(株)) 11:45-11:50 閉会挨拶 岡本 敏宏(東京大学)	本セッショ研究者に	橋渡しするベンチャー ョンでは、当分野を牽 設計や展望について 11:50] いま高 久	別されている産官等 紹介いただきます。	学の -		なっています。本ついて紹介します。		最新の研究開発	事例に			分子設計~ 家裕隆(大 閉会挨拶 山口 和也(±\
Ε	09:30-09:35 開会挟抄	・熱に	Ti:501 いる 同力 耐え、熱を伝 材料」の最前 物性で最初に注目され	える「熱マネ 線〜	ジ		~次世代材料 同じ材料でも表面 機能が大きく異り	「映える」界面 を創る表面・界面・界面での「見せ方なることがありまった。	す面技術〜 i」によって発揮さ す。本セッション	される では	13:05	-13:40	固体電池界 伝導現象 高田 和典(インフォマ	面における特異なイオ 物質・材料研究機構) ティクスを活用した触媒	シ
	石田 雄一(宇宙航空研究 機構) 10:45-11:20 宇宙でも使えるの? 〜セラミック材料の開発・ 新井優大郎(東京理科大学	開発 では、熱を位子等の熱拡は、これら「	する高分子材料の研究 云え、放出する高分子材料 、散に用いられるようにな 熱マネジメント高分子」の	料が登場し、パワー半導 いています。本セッショ D最前線を紹介します。	体素 iンで		開発において、最 界面設計により個 紹介します。	最先端の化学を駅 優れた機能を発揮	を使した美しい。 する研究例につ	表面・			小林 正人(構造材料接 秋山 陽久(バイオミメ	の計算・解析・予測 北海道大学) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	面
F	11:20-11:55 スペースシステム創造科センター紹介と壊れない電池の開発 ド山陸(東京理科大学) 11:55-12:00 閉会挨拶	研究 【 09:30- 太陽 〜宇宙 宇宙環境 地上とは	12:00] 次は宇宙 7も化学も可能 は、高真空、宇宙放 まったく異なっている	性は無限大く 射線、急激な温度差 ます。このような環境	iなど、 境下で		再生可能資「陸の豊かさを守るべきSDGsの1つて	陸の豊かさをい源の活用と陸上 源 の活用と陸上 る」は、私たち人類だ です。多様な動植物	生態系とのよ が未来のために取 物を守りつつ、産	ひ組む 業にも			バイオ界面 クスとの副 林 智広(東	三菱ケミカル(株)) 前解析とインフォマティ (合 京工業大学)	交交
•	上野 祐子(中央大学) 09:30-09:35 開会挨拶 池田 将(岐阜大学) 09:35-10:20 [基調講演] mRNA 医薬・ mRNA ワクチンによる新	使用する本セッション	う進化したのか。人 材料は、どのようにほ ョンでは、宇宙と生命 フクワク・ドキドキをむ	開発されるのか。 6、化学材料のつな 8届けします。	がりに		ます。本セッション 焦点を当て、「バイ」 から講演していた/		5「陸の豊かさを	守る」に			複合酸化物中島章(東	(ルス活性を有する無権) 京工業大学) 小柳津 聡(旭化成(株	())
G	IIIINIX フジナフによる利化 創業の可能性 位高 啓史(東京医科歯科: 10:25-10:55 核酸 の視点からコロナ 圧を考える 井上 貴雄(国立医薬品負 衛生研究所)	大学) 地球規模 -制 よって、人	16:25] コロナに の気候変動の結果 く々の生活様式はあ における新しいモダ	、様々な感染症が世 らゆる点で変わり	世界中でました。	猛威 想	を振るう可能性が Eに立ち向かう化き	指摘されています	¯。特にCOVID-1½ 、本セッションで	9に は、	13:05	-13:40	セルロース 材料への応 磯貝 明(東	集(三菱ケミカル(株)) ナノファイバーの高分 (用最新動向 京大学) (の成り立ち:イネの生)	
	10:55-11:25 細胞内環境に応答する服用材料を基盤としたRNA 酸導入技術 秋田 英万 (干葉大学) 11:30-12:00 高分子で作る人エウイル	\·核				•					14:30	-15:05	を支える物 浅川 晋(名 植物・土壌間 土壌への排	質循環と微生物 古屋大学) 引相互作用の解明と人: (戦	_Σ 30
Н	遺伝子治療への展開 長田 健介(量子科学技術 開発機構) 13:00-13:45 [基調講演] 新型コロナウ スワクチン開発最前線	研究 本セッシュ異分野の	109:30-17:10] 博士課程学生オーラルセッション 本セッションでは、化学フェスタでポスター発表する博士課程学生に、普段の学会発表とは異なる、産業界を含めた 異分野の人へ自分の研究を口頭発表で広くアビールできる場を提供します。博士学生を中心とした、産学官の 立場・世代を越えた交流を目指します。優秀な発表には「CSJ化学フェスタ博士オーラル賞」を授与します。 (付達 彼明(農業食品産業技術総合研究機構)							桁 合					
	森下 竜一(大阪大学) 13:50-14:20 新型コロナウイルスを捕ま 人工抗体をつくる 村上 裕(名古屋大学) 14:25-14:55 アフィニティーペプチドを	利用	[10 00 47 071 ²	込たちに任せ	T/ +	<u></u>	いつくります	t - 左燃合:	*/レ**				普及に向け 坂井 宏成(低環境負荷	成分とする循環型素材 た取組み (株)TBM) f型フロン代替ハイドI レフィンの開発	
J	した位置選択的ADCの次化学合成法の開発 松田豊(味の素(株)) 15:15-15:45 中分子ペプチド医薬品の 状と展望	現	やはり化学で大事 最先端の技術によ	なん うしせ と なのは分子をつく って簡単に、そして 何をつくっているの	ることで	ゔす。- つくれ	-昔前には難しかるようになってき	った生物活性天然 ました。今、最先端	物や機能性材料にいる有機合成	化学	17:10	-17:15	岡本 秀一(閉会挨拶	AGC(株)) 田辺 佳奈(AGC(株))	
	出水 庸介(国立医薬品食生研究所) 15:50-16:20 生体適合性ポリマーの体診断薬への適応評価と COVID-19検査薬への展開 小林 現(日油(株))		<u> </u>		1										
K	16:20-16:25 閉会挨拶 田中 賢(九州大学) 10:00-10:05 開会挨拶 田中 克典(ほ 10:05-10:35 「うまくつくる」ためにで 10:35-11:00 反応を解析することもっ	型化学研究所) きるごと 大宮 寛	タ(金沢大学)		産学紹	00-13 全 介企 ノチタ	&D 画	產	5:00-15:30] 学官R&D 3介企画	15:00-1	- 栗	多孔性谷 真涯	登(昭和電工	半導体パッケー ジー (株))	
	11:00-11:30 まだまだある、つくる技術 11:30-12:00 人工レセブターをつくる 13:00-13:30 有機化学でナノロボット 13:30-14:00 "刺激的"な有機合成化学: 鈴木 孝紀(北海道大学)	析 橋本 卓也(干) 方 吉沢 道人(東京をつくる 葛谷 明電気化学刺激応答	葉大学) 王工業大学) 日紀(関西大学) 性を利用した単一分子	アメモリへの挑戦	tz:	ッショ 講演) 一	ע -	t	R&D ツション 講演) ****)ケミカル技	西		左(昭和電工 量(昭和電工	(味が)マテリアルズ(株))	
L	14:00-14:30 疾患を診断するプロー 14:30-14:55 付き25 タンパク質をつかって人 15:35-16:05 もう今はタンパク質もこ6:05-16:30 お望みのものをつくりま 16:30-17:00 複雑なアルカロイドを実 17:00-17:05 閉会挨拶 廣原 志保(5)くれます - 林 剛/ :す! - 真岡 宅哉(ネ !験室でたくさんつ	↑(名古屋大学) 申戸天然物(株)) >くる 徳山 英利(東		12:00-1 12:06-1 12:22-1 12:38-1	2:05 2:21 2:37 2:53	花王のケミカル事 廃PETを活用した。 エコプリンティンク 加納 邦泰(花王(ホ	議・技術の全体像 高耐久舗装技術 グ社会を支える超低 株)) 、ナノファイバー界)	仲井 茂夫(花3 垣内 宏樹(花王 5温定着トナー「	E(株)) (株)) LUNATONE ₋		\$			
P			[10:00-12:00] 学生ポスター 無機化学・触媒化学・分 錯体・有機金属化学、 天然物化学生体機能関連		分子化学		[13:00-15:00] 学生ポスター 物理化学、 無機化学・触媒化学・ 有機化学、錯体・有機	- 発表:P5	学生; 無機化等 天然物化等	0-17:30] ポスター デ・触媒化学・分学生体機能関連化 と学、材料化学	析化学、	有機化等	学、 、		
			①旭化成(株)、② ⑨住友化学(株)、	全学官R&D紹 (株)ADEKA、③出 ⑩住友ベークライ 東ソー(株)、⑰日本	光興産(ト(株)、	株)、 ①積z	④花王(株)、⑤(杉 k化学工業(株)、	株)カネカ、⑥(株) ⑫太陽ホールディ	ングス(株)、⑬[DIC(株)、⑭	帝人().		
		09	10	11		12	13	14	15	16	3		17		18-19

10月21日(木)		717	タ企画…有料 公開企画…無料 ※有料・無料に関わらす参加登録が必要です。
会場 09	9 10 11 12	13 14 15 1	6 17
した多糖類の構造解析 松葉豪(山形大学) 09:50-10:10 水圏界面における機能分子 の配列制御と機能創出 牧浦 理惠(大阪府立大学) 10:10-10:30 水圏環境における発光性分子 材料のセンシング機能 長谷(川 結婚((海)首大学)	19:30-12:00] 文科省科研費新学術領域研究「水圏機能材料: 環境に顕和:応答するマテリアル構築学の創成」特別企画(2): 水との調和により創造される材料機能 本新学術領域研究では、「水」の存在下において環境と調和相互 作用しなから機能を発現する材料を「水圏機能材料」と定義し、 「水」と「材料」の相互作用を分子レベルナノ集合し、小レでとら スで、新しいマラリアル構築学を創成いたします。特別企画(2) では「水との調和により創造される材料機能」について紹介します。	◆生活リズムの基本・健やかな睡眠を化学する~ 生活リズムの基本となる睡眠と健康は相互に深く関係しています。あなたの睡眠は大丈夫でしょうか?睡眠時間だけでなく、その善し悪しが健康を左右します。睡眠に役立つ化学の力を専門の先生方から分かり易くお話ししていただきます。 睡眠と健康に興味を持つ一般の方から化学者まで多くの生のご会があたり送れば、います。	13:00-13:05 開会挨拶 辻一誠(日揮ユニバーサル(株)) 13:05-13:45 睡眠と健康との深い関係~睡眠にかかわる 生理機能の全谷~ 無山 健一(国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター) 13:50-14:20 睡眠と睡眠環境~暴度からセンシグまで~野々村 球人(西川(株)) アミノ酸グリシンの睡眠サポート機能について 梶原 賢太(味の素(株)) 15:05-15:35 艮質睡眠習慣 てやりたいことをやろう!
13:00-13:05 開会挨拶 四反田 功(東京理科 13:05-13:05 蓄電池を非砂壊 定門値するため 3:50-14:33 蓄電池のインビーダンス計測の3 14:30-15:10 リチウムイオン電池の劣化学動解 15:25-16:05 はやかごの成功比宇田用電池の信 16:05-16:45 イオン液体を用いた宇田用電池	7たのの生物需想材料の設計 中畑 雅樹(大阪大学) 変換材料の設計 桶葭 興資(北陸先端科学技術大学院大学) 大学) りインピーダンス測定の基礎 板垣 昌幸(東京理科大学) 実際 武野 光弘(パナソニック(株)) 別にむけたアプローチ 小林 剛(一般財団法人電力中央研究所) 創康マネージメントが鍵! 曽根 理嗣(宇宙航空研究開発機構)	「重水素学」の今×学術変革(B) 「革新ラマン」 「高分子精密分解」「シナジー創薬学」座談会 学術変革領域研究(B)は、昨年度新たに関連された科学研究費制帥金事業です。 前半は、重水素化により発現する特性を理解し、物質機能を引き出す研究機域 「重水素学」を個小します。後半は「革新ラマン」「高分子構造分解 「シナジー創 薬学」の先生方をも招きして研究領域を紹介いただき、今後の展開を額論します。	〜 睡眠研究から見えてきたこと〜 岩井 崇郎(ライオン(株)) 15:40-16:10 眼の周りを温めると、寝つきがよくなる! 〜 手足からの放発促進と入眠の関係〜 市場 智久(花土(株)) 16:15-16:55 睡眠の質をアップするには? 〜 コロナアの睡眠障害のリスクマネジメント〜 武田 文(筑波大学) 16:55-17:00 閉会挨拶 椛島 真一郎(ライオン(株)) 13:00-13:05 閉会挨拶 中 寛史(京都大学) 13:05-13:15 領域紹介「重水素が示す特性の理解
の開発と信頼性評価 石川 正司(関西大学) 16:45-16:50 開会挨拶 四反田 功(東京理科大学) 09:30-09:35 開会挨拶 山口 和也(東京大学) 09:35-10:05 水素焚きガスタービン燃焼器 開発に向けた取り組み 現る 海便における石炭火力 第一次 10:10-10:40 出光興産における石炭火力 番票所等からのCQ:排出削減	[09:30-12:00]電力の脱炭素化はカーボンニュートラル実現の要カーボンニュートラル実現の要は、化石燃料のみに依存せず、発電時にこのを排出しない「電力の脱炭素化」といっても過言ではありません。本セッションでは、発電事業における様々なの・削減の取り組みや、次世代の発電技術について紹介します。	[13:00-16:50] その電池健康ですか? ~蓄電池の安全性向上および非破壊評価技術の深蓄電池は適用先が急拡大しており、様々な用途に用いられてし電池の劣化・故障は、機器のトラブルに直結するため、日々の状態を非破壊か一箇男にモニタリングする手法が求められてし本セッションでは、蓄電池の非破壊評価技術に関連する研究事例を紹介します。	13:35-13:55 重米素科学のための新理論の構築 電池の はます。 開発の 13:55-14:15 重水素化による医薬分子と分子触媒の 機能開拓 中東史(京都大学) 14:15-14:35 重水素化医薬品設計のための薬物 代謝酵素が関与するKIEの予測法・
に向けた取り組み 細な (計学) 関係 (株) (10:50-11:20 高温 ガス炉およびごれによる 水素製造法の研究開発状況 久保 質治(日本原子が研究開 発機制 11:25-11:55 未来の電気は宇宙から~宇宙 太陽光発電ンステム SSPS・ 相馬 央令子(宇宙航空研究開 発機構) 11:55-12:00 発機構) 11:55-12:00 現金挨拶 加口 和也(東京大学)	【09:30-11:50] モーニングティーはパイと一緒にパイと一緒にパイ大径系材料は軽量・フレキシブルな光電子機能性材料として科学技術に新たな潮流をもたらしています。近年、有機にディスフレイや有機太陽電池が実用化され、日々の生活にこれらを用いた技術が確立され始めています。本セッションでは、当分野を牽引されている先生方に設計や展望について紹介いただきます。	[13:00-17:10] Let's Enjoy Chemistry in Jap and World! This is the 4th English session for international researchers in Chemistry Festa. The organizing committee welcomes both internati and Japanese researchers, postdocs, and students who want to be act in global stage of chemistry. The international academic and indus researchers who have international career will give special invited the about their researches, motivations, resilience, and advice for you.	14:45-14:50 趣旨説明 ・ 寛史(京都大学) 14:50-15:10 華新ラマン機能性ラマンプロープによる華新的多重イメージン 神谷 (東京大学) 神谷 (東京大学) 小関 寮之(東京大学) 小関 寮之(東京大学) 15:10-15:30 高分子精密分解高分子材料と高分子領域有能の分解科学
09:30-09:35 開会挨拶 辻勇人(神奈川大学) 09:35-09:55 水で色が変わるパイを召し上がれ 正田 洋平(大阪大学) 09:55-10:15 曲かったパイの部合わせセットで 瀬川 泰知(分子化学研究所) 10:15-10:35 通信で焼き上げたパイはいかで 成田 明光(沖縄科学技術大学) 大学) 10:45-11:05 光を浴びたパイの行方は? 屋坂 格(広島大学)	109:30-16:551 環境にやさしいサステナブルが カーボンニュートラルが宣言され、持続可能な社会の実現に向 取り組みや資源循環型社会のための材料や技術の開発が活 サステナブルな高分子材料をデーマに研究と実用化の最前線	引けて、CO₂削減やマイクロプラスチック汚染などの環境問題への発化しています。本セッションでは、真の意味で環境にやさしし	に合物相乗効果の統合理解と限計 山西 芳格(九州工業大学) 15:50-16:15 バネルティスカッション「学術変革 (B)のいまとこれから 16:15-16:20 閉会挨拶 石元 孝佳(広島大学) 13:00-13:05 Opening Remarks Yuya Oaki (Keio University) 13:05-13:35 Pros and Cons of Being a Professor in Japan Daniel Citterio (Keio University) 13:40-14:10 My Education, Works and Life Experiences in
11:05-11:25 顕微鏡でパイナンだ 川井 茂樹 物質 材料研究機構) 11:25-11:45 ナノ空間でパイを焼くと? 久留島 康輔 東レリサーチセン ター) 11:45-11:50 閉会挨拶 中田 健也(島根大学) 09:30-09:35 開会挨拶 田中 紳一郎(住友化学(株)) 09:35-10:10 持続可能な社会の実現には	109:30-11:55] 生体高分子を"部材"とした Nano建築~のりしろのデザインがいい感じ~ 生体高分子は二重らせん構造など独自の構造を形成し、 生体機能に深限与しています。近年、これらの生体高 分子に意図的な人工分子設計を組み込むことで、天然に は存在しないナノ構造・機能を生み出す技術が確立され 始めています。赤柱、立ちないません。 発生が表現しているのでは、当分野を牽引されてい る先生方に設計や展望について紹介いただきます。	[13:00-16:55] マテリアルインフォマティックス(M 使うデータをどうやって作り出す?~ロボット、シ レーション、有機でも無機でもやってみよう!~ 一般にMの活用には多くのデータを必要とします。そのたい ロボット化やハイスループット化を組み合わせる試みが大い されています。データの入手方法として第一原理計算やシミ ションを活用する試みも進められていますが、本セッションで らの試みにスポットライトをあてて紹介をしていただきます。	Materials Science) 14:15-14:45 From Lab to Industrialization ~Let's Innovation Happen~ 東縣の 15:00-15:20 Add Perseverance to Your Passion - The Long and Rocky Academia Pathway-
プラスチック問題解決が不可欠 宇山浩大阪大学) 10:10-10:45 マイクロプラスチックへの高分 子科学からのアプローデ 高原 淳(ハ州大学) 10:50-11:25 海洋プラスチックごみ問題解決に 向けて動き出しているCLOMA 竹下 満(CLOMA事務局) 11:25-12:00 バイオマスプラスチックの機能 の課題解決には分子設計に策	[09:30-16:10] コロナに負けるな!ウイルス COVID-19をはじめ、人類は化学物質検知によってウイルス・ 嗅覚や臓器間コミュニケーションなど、化学感覚のメカニズ 感覚による物質検知とその活用の最先端の研究について第	や疾患と様々な情報戦を繰り広げています。近年、味覚・ 「ム解明が急速に進んでいます。本セッションでは、化学	Chiteng Li (The University of Tokyo) 15:50-16:10 Amino Acids for Beauty -My Working Journey with Ajinomoto- Min Ley Pua (Ajinomoto Co., Inc.) 16:20-16:40 Bottom-up Construction of Cooperative Interactions for a Good Ensemble Rie Wakabayashi (Kyushu University) 16:45-17:05 Tailored Acetylene Black for Next Generation Energy Devices -Under the Perfect Blue Sky in California-
がありえる 阿部 英喜 理化学研究所) 13:00-13:35 木質バイオマスのリグニンは こうして使う 編集 和彦(名古屋大学) 13:35-14:10 CIN「複合体開発と材料リサイクルシスムの構築 リシステムの構築 14:20-14:55 グリーンバイオブロセスによる 芳香族(占物の生産技術開発 著 将行(公益財団法人地球環	109:30-12:00] 化学のプレゼンに役立つ KNOW-HOW 自分の研究や仕事の成果を正しく評価してもらうために は、高度な内容でもわかりやすく、また注目され、外に向け て発信することが重要です。本セッションでは、データの シミュレーションやグラフの見せ方およびスライドの構成 など、プレゼンテーションを動か付いるも様々な方法と論 文執筆のコツを講師の先生方に紹介していただきます。	[13:00-16:45] 大型研究施設を用いた化学研究材料開発 普通では解析できないものを観る・計算するために、大型系施設を使うことも一つの選択肢です。本セッションでは、我が厚高と世界最高の大型研究施設のこれまでとこれからを「使しという親点で」施策、施設、また、ユーザーサイドから熱く語いただきます。	Masato ikeda (Jiri University) 13:00-13:05 開会挨拶 小柳津 聡(旭化成(株)) 13:05-13:50 【基調蘭漬「マテリアルズ・インフォマティクスにおける自動設計と知識発見 津田 宏治(車声大学)
境産業技術研究機構) 14:55-15:30 高耐熱性パイオ由来プラス チック開発の経緯と課題 大西康、保京大学 新建ナノアーイバーを用いる 細胞壁セルプラスチックの創製 近藤 哲男(九州大学) 16:15-16:50 持続可能な天然ゴムエコシス テム、新しいソフトマテリアル 開発成で、長岡技術科学大学) 16:50-16:55 閉会挨拶	(09:30-12:00) ただでは転びません 〜失敗に潜むブレークスルーの種〜 「失敗は成功の〜」、実験の失敗に潜むブレークスルー の種を見過ごさずに解析することで、予期せぬ発見が 生まれ、大成功につながる場合があります。また、重要 な教訓が得られる場合もあります。本セッションでは、 普段は語られない研究における失敗該、起死回生の 成功事例、ならびに教訓などについて紹介します。	[13:00-17:20] 3Dプリンターが拓くものづくりの3 3DプリンティングなどAdditive Manufacturing (AM、付加製技術は過去数度のブームを経て本格的に産業界への導入目立ってきています。本セッションでは、学術界での最先端研究トピックスや将来展望および産業界における活用事を紹介します。 09:30-09:35 間会挨拶 廣原志保(宇郎工業高等専門学校) 09:35-10:10 納得してもらえるプレゼン術	時代に人間は何をすべきか?
渡辺 訓江((株) プリヂストン) 09:30-09:35 開会挨拶 ー川 尚広(東京農工大学) 09:35-10:05 DMAをノリシロとした世界最小のオリガミに挑戦り 返藤 政幸(関西大学) 10:10-10:40 30ドメインスフッピングにより自己組織化するタンパク質超分子の開発	09:30-09:35 開会挨拶 山本 政宏(TOTO(株)) 09:35-10:20 [基調講測 匂いフェロモン研究の最前線 産学官下 東原 和成(東京大学) 10:25-10:55 新型コロナウイルス感染症による嗅覚・ 味覚障害のメカニズムと臨床像 上羽 瑠美 保京大学) コニウウイルスの性状と制御法開発~ 出力・ロイルスの性状と制御法開発~ 松浦 善治(大阪大学) 米ボボルボルドロ	(A) 効果的スライドデザインと発表 (Diaf Karthaus (千歳科学教術大学) (Diaf Karthaus (千歳科学教術大学) (Diaf Karthaus (千歳科学教術大学) (1:20-11:55 論文の書き方、論文の投稿のコツ寺西 利治 (京都大学) (1:55-12:00 閉会挨拶 石田 玉青 東京都立大学) デンカ(株) ランチタイムセッション	子データベースとその利用 内藤 昌信(物質 材料研究機構) 16:50-16:55 閉会挨拶 干賀武志(富士フイルム(株)) 13:00-13:05 閉会挨拶 田中 敬二(九州大学) 13:05-13:35 量子ビーム利用の現状とこれから、化学 分野への期待 萩谷 遥平(文部科学省) 13:35-14:15 化学研究・材料開発における中性子 ミュオンの使い方 青木 裕之(日本原子力研究開発機構) 14:15-14:55 放射光-XFELが推進するグリーンイノ
廣田 俊(奈良先端科学技術大 学院大学) 10:45-11:15 機能性タンパク質シルクエラ スデンの医療材料への展開 11:20-11:50 化学が拓くナノ医療インペー ション体内で薬を運び、作り 操る分子技術の開発 片岡一則(公益財団法人川崎 市産業振興財団) 11:50-11:55 閉会挨拶	11:30-12:00 体を外敵から守る化学感覚細胞の マスター因子を同定 廣田順二(東京工業大学) 13:00-13:30 血管形成の分子メカニズム解明で新型コロナの 高倉 伸幸(大阪大学) 13:35-14:05 サバイバルする皮膚、表皮は最初の感覚器 傳 14:10-14:40 バイオハイブルする皮膚、表皮は最初の感覚器 傳 15:00-15:30 香りが入に与える影響 伊藤 兼敏(高砂香料工 15:35-16:05 風邪予防に効くアミノ酸[シスチン]「テアニン」! 16:05-16:10 閉会挨拶 高橋 祐司(東洋紡(株))	田 光洋(明治大学) 内 昌治(東京大学) 業(株) 東原 重 - (味の素(株)) 田 十	ペーション 矢橋 牧名(理化学研究所) (ペーション 矢橋 牧名(理化学研究所) 15:10-15:50 スーパーコンピュータ 富邑における大規模計算と化学研究・材料開発への期待 吉澤 香奈子 (高度情報科学技術研究機構) 15:50-16:15 X線吸収分光による均一系触媒反応機構の解明。高谷光 (京都大学) 16:15-16:40 中性子皮射率測定による高分子界面の理解織田 ゆか里(八州大学) 16:40-16:45 閉会挨拶 桑田 繁樹 東京工業大学) 13:00-13:05 開会挨拶 井上 明久(以SR(株))
10:30-09:35 開会挨拶 北震一郎(産業技術総) 09:35-10:10 化合物分解事件からオリンピック 合体までの適のり 大貝 史樹 (干葉大学) 10:10-10:45 30 細胞 ブリント技術の発展と培養 さるまで 松崎 典弥 (大阪大学) 10:45-11:20 色素が利開発におけるセレンディ その発展 11:20-11:55 正明 映画 (相模中央化学研究所 11:20-11:55 正解は常識の外にあった。超耐熱	労子集 無機化学 勉験化学 分析化学 有機化学、 天然物化学生体機能関連化学 バイオテクノロジー、 高分子化学、材料化学 (ビティと (ビティと 10:00-17:30] 産学官R&D紹介企画 - ①味の素(株)、②花王(株)、③信越化学工業(株)		13:05-13:45 最近の3D部技術の動向〜金属材料を中心として〜京極 秀楠 (近畿大学) 13:45-14:25 Carbonの材料と造形技術で実現する3D ブリンタの最終部品適用 澤田 安彦 (JSR(株)) 14:30-15:10 3D/4Dプリンティングの未来 田中 浩也 (慶應義塾大学) 15:10-15:50 やからか3D宣言と信息呼回にプログラム 古川 英光(山形大学) 15:55-16:35 3Dデジ外比技術による義設装具の設計製造 安援サービス 上田 雄一(ラピセラ(株))
11:20-11:35 正解の場合の (中の方面の の で) にある (中の方) になる (中の方) になる (本) に	機構)	13 14 15 1	16:35-17:15 インクジェット技術を用いた金属3Dプリンティング技術 佐藤 慎一郎((株)リコー) 17:15-17:20 開会挨拶 宍戸厚(東京工業大学)